

市町村指定文化財取材票 <表>

取材日	2024年	2月	22日	(記入者) 石井宏子	
取材参加者	石井	井本	小倉	宮本	本井
取材対象先	奈良市：西方寺の木造祐全上人坐像				

所在地	奈良市油阪町433				
所有者(取材 対応者)名	西方寺 住職夫人***様・住職ご子息** *様			連絡先	0742-23-3755
				PCアドレス	
取材申込	申込先・行政名など： 西方寺				
市町村 指定文化財	彫刻	1 軀	木造祐全上人坐像＝1979(昭和54)年5月14日指定		
	建造物	棟	名称(指定年月日)		
文化財指定理由	合掌する祐全上人を写実的に表したもので、像内の墨書銘から室町時代1556(弘治2)年に宿院仏師の源次と子の源四郎・源五郎が作ったことがわかる。宿院仏師による肖像の作例は少なく、厨子1基、棟札1枚、再興注文1紙も付属している貴重な例である。				

文化財の状況

防火対策	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
	火災報知器・消火器等の機器設置に加え、年に一度消防署の調査や消火訓練も行われている。	本堂をはじめ、書院や納骨堂など、いずれにも防火機器等の設置がなされている。
獣害対策	被害の有無、対策など	記入者の感想
	アライグマ、アナグマ、イタチ、狸などが出没する。靴を咥えて行ったり、雨樋の穴から屋根裏に入った形跡もあるが、今のところ大きな被害ではない。近年は猫も多い。床下にネットを張ったり、煙を焚いたり等の対策も余り効果はない。	広い寺域でもあり、獣害対策はなかなか難しい点も多い。
保存～継承へ苦勞と今後の課題と対策	祐全上人坐像は、20年ほど前に最新の設備を持つ納骨堂に移られた。今年、御長男が第23世、晋山式を行われる予定、次男様もお寺の仕事を受け持たれているので、お寺の後継者等の不安はない。お寺は、早くから奈良のボーイスカウトの拠点として活動され、近隣の幼稚園児にお茶の体験の機会を作ったり、近年は、県平和学習の一環、奈良に残る戦争遺跡見学等にも協力され、寺内に残る第二次世界大戦時の防空壕への見学にも対応されている等々、活発に活動をされている。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

当該文化財は無論、庭園・茶室も含め境内建物は美しく保たれ、新しい設備等の導入も積極的に行っておられる。広い寺内を今のように美しく保持されるのは、寺族の方々の大変なご苦勞の賜物だと感じた。古い寺歴のお寺だが、昭和初期の檀信徒さんによるお茶室「空庵」の復元、平成期の万葉碑建立など檀家との強い結びつきも続いている。立派な信徒会館もあり、檀家数も多い。境内の所々に、信徒さんの仏事法要等参加の様子の写真も飾られ、月に一度の檀家さんの清掃活動も続いているということで、今も篤い信仰が続いていることを垣間見れる。現在のように幅広い信仰の場として、また地域活動等も継続していただきたいと願う。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2024年	2月	22日	(記入者) 石井宏子	
取材参加者	石井	井本	小倉	宮本	本井
取材対象先	奈良市：西方寺の木造祐全上人坐像				

《写真撮影許可済》

文化財指定名 木造祐全上人坐像

文化財 (正面写真)	文化財 (安置全体写真)
	
	 ↑安置されている 納骨所の様子

本堂 (扁額と御本尊 阿弥陀如来三尊)	境内の様子
 ←扁額 草鞋山 そうあいざん   本尊阿弥陀 如来三尊像 (国重文)	   ←表門 多聞山から移設 したが、平成25 年に建替

文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入
<p>中興開山の祐全上人の等身大の合掌坐像で、ヒノキ寄木造り。昭和50年代に、像内に上人の骨や歯が収められていることが分かった「墓代わりの像」でもある。1979(昭和54)年に市文化財第2号として指定を受け、行われた解体修理で像内に墨書銘があったことから、1556(弘治2)年に宿院仏師、源次・源四郎・源五郎の作と判明し、宿院仏師や東大寺との関わりも判明。上人が生前から仏師に指図・制作された寿像で、わずかに口を開き、うつむき加減に合掌される穏やかで生き生きとしたお姿である。</p>	<p>寺伝によると、西方寺は神亀年間に行基菩薩が多聞山に創建され、1559(永禄2)年松永久秀の多聞城築城に伴い、東大寺勸進僧、祐全上人が正親町天皇より御綸旨を受け「南都総墓所」として現在地に移転再興したと伝わる。「草鞋山(そうあいざん)」の山号は、移転当時この辺りは広野原で、東大寺や春日大社に参詣に来られた貴族、修行者たちが、この地で草鞋を履き替えたり紐を直したりしたことから「草鞋野(わらじの)」と呼ばれていたことに由来。多くの石塔や石碑もある1200坪に及ぶ墓地が美しく保たれ、西山浄土宗の活動も活発に行われている。</p>